

令和6年度 自己評価結果公表シート

豊中みどり幼稚園

1. 本園の教育目標

- 心身ともに、たくましく元気な子どもに
- 思いやりのある、あたたかい心の子どもに
- よく考え、判断し、行動できる子どもに
- 幅広い経験に意欲を持って取り組み、やり抜く子どもに
- 自分の感じたことを豊かに表現できる子どもに

2. 6年度重点的に取り組む目標や計画

1. 子どもが真ん中に保育を考え、新たなアイデアも取り入れながら保育の質向上を図る
 - a. 行事や保育の見直し
 - b. 園内研修を通して子どもの育ちを捉え、子ども理解や保育の質向上に努める
 - c. 勤務年数に応じた外部研修にも積極的に参加する。
2. 職員個人や学年の自己評価を充実させ、全体がステップアップしていける仕組みを作る
3. 予告無しで訓練を実施するなど避難訓練の見直し
4. 園のアピールの強化

6年度の園目標 : Try! Enjoy! 強みを知ろう! — チームも私も step up —

3. 評価項目の達成及び取組み状況

課 題	具体的な取組み方法
1. 子どもが真ん中に保育を考え、新たなアイデアも取り入れながら保育の質向上を図る a. 行事や保育の見直し b. 園内研修を通して子どもの育ちを捉え、子ども理解や保育の質向上に努める	昨年の子どもの姿を振り返り、職員間で話し合う場を設けて今年度の課題を考える。 a. 音楽参観や運動会などの行事を見直し、方向性を決めていく。また、異年齢活動や新たに取り入れたい保育についても担当を決めて、実際に取り組んでいけるようにする b. 環境めぐり以外でも、「食育」「園庭遊び」というテーマで他の保育者の保育も見る事が出来るよう園内研修を組む。職員同士の対話を重要視し、保育の質の向上につなげる。
2. 職員個人や学年の自己評価を充実させ、全体がステップアップしていける仕組みを作る	個人の自己評価の項目を簡潔に、わかりやすく具体的に記入できるようにし、職員間で共有できるように改善。年間目標を立て、共有しながら学期ごとに振り替えることで、自分の課題や目標、方法を明確化し、職員と共有することで認め合い、意欲的に取り組めるようにする。 また、卒園児保護者にアンケートを取り、保護者の保育の理解や

	満足度等調査した。これからの保育の質の向上に活かしていく。
3.避難訓練の見直し	実施日を知らせない避難訓練(地震・不審者)を実施し、様々な状況に応じて臨機応変に対応する方法を身に付ける。また、都度振り返りをし、防犯・防災意識を高める。
4.園のアピールの強化	HPの充実に加え、インスタグラム、動画も取り入れる。また、地域の未就園児に向けたイベントも開催し、職員採用や新規入園希望者へのアピールを図り、園を知ってもらう。

4. 6年度の目標や計画の総合的な評価結果

今年度は、園目標に「Try! Enjoy! 強みを知ろう! — チームも私も step up —」を掲げ、保育を楽しみながらチームとしても自分自身もステップアップしていこうと取り組んだ。

子どもの姿や育ちをもとに職員との話し合いを重ね、1学期の「音楽参観」やプレゼント制作の保育などを検討した。新しい環境となった1学期に、今まで以上に保育者との信頼関係を築け、丁寧に子ども達とかわることが出来た。また、話し合いの中で、異年齢保育(新たな取り組み)としても職員の声から「フリーDAY」が生まれ、子ども達が主体的に活動できる時間を作ることが出来た。

園内研修では、他の保育者の保育や保育観、かかわり等を見ることで、新たな気づきや視点が見え、学びにつながった。また、今年度末に大阪府私立幼稚園連盟で1年目の先生がポスター発表をおこなった。このことで1年目の保育者も自信がついたり、いろいろな園の職員とふれ合うことで、保育に向けての目標や意欲の向上につながった。

自己評価の見直しでは、KPTAと用いた評価にすることで、自分の目標を明確でき、具体的に行動を起こしていく手立てがわかりやすくなった。この自己評価を職員間で共有することで、お互いが切磋琢磨しやすくなった。

避難訓練では、職員にも日時を3日くらいの猶予をつけて実施し、振り返りをすることで、危機管理を更に意識するようになった。

HPやインスタを見たという保護者や求職者の方も見受けられるようになってきた。地域の未就園児に向けたイベント「ようちえんであそぼう」では、ちょうどよい人数の参加者があり、良い滑り出しとなった。次回の問い合わせもあり、継続していく必要性も感じた。参加者がまだ在園児やその兄弟がほとんどなので、もっと周知を徹底していきたい。

5. 次年度の取り組むべき課題

7年度の園目標： 広がれみどりの輪! ～ 輝け じぶんいろ ～

パワフルに動き出そう!! ～ やってみたいを自分から ～

課 題	具体的な取り組み方法
1.子どもが真ん中に保育を考え、新たなアイデアも取り入れながら保育の質向上を図る	昨年の子どもの姿を振り返り、職員間で話し合う場を設けて今年度の課題を考える。 a.子ども達が主体的に見通しをもって取り組めるようにあそびを

<p>a. 異年齢保育「わくわく」の再考 b. 園内研修を通して子どもの育ちを捉え、子ども理解や保育の質向上に努める</p>	<p>選択制にする。「やりたい」を実現化し、深掘りできるようにする。 b. 「食育」(クッキング以外のアプローチ)「造形遊び」などのテーマで園内公開保育を行い、保育や子ども理解を深めていく。</p>
<p>2. 分散型リーダーシップを推進し、職員それぞれが自分の得意や好きなこと、やりたいことを活かし、連携していく</p>	<p>若手リーダーが増えたことにより、分散型リーダーシップの体制をとる。学年の仕事は担当制にしたり、異年齢活動やフリーDAY、園内研修についても主担当を決めたりと、各々が責任をもって取り組み、連携していけるようにする。</p>
<p>3. 保育園や小学校、地域とのつながりを深める</p>	<p>豊中みどりっこ保育園と合同で研修をしたり、保育や環境をみたりして、連携を深める。小学校とも連携をとり、授業や保育を見あったり、カリキュラムを共有したい。 また、地域に向けてのイベントや活動も広げていきたい。</p>
<p>4. より良い保育環境となるよう整備する</p>	<p>延長保育室の整備や園庭ターフの設置等、より良い環境で子ども達が遊べるように環境を整える。</p>

6. 学校関係者評価

- ・ふれあい遠足が好評で、様々な経験ができ、子どもも楽しみにしている様子があった。
- ・担任の先生だけではなく、園全体でこどもたちを見守っていただけていると感じられた。また、一人ひとりの子どもの個性を認めてくれていて、子ども達が「楽しい」と思えることを一番に考えていてくれところが良い。
- ・運動会では、先生の指導の計画性の良さや子どもの様子を見て、進めていかれたから、どの学年も無理なく練習を進められ、目標を達成できていた。
- ・園内研修などを通して、ひとり一人の先生の保育能力が向上し、日頃の保育を大切にしていることが感じられた。
- ・豊中みどり幼稚園の大切にしている保育が行事を通して再認識させてくれている。
- ・園目標をたて、掲示することで、結果、職員のステップアップの意識につながっていったように思う。また、自己評価を明確化して共有することで、お互いが切磋琢磨したり刺激を受ける機会になり、職員のスキルアップにつながった。
- ・園のアピールとしては地域に向けてのイベントは良かったが、インスタも含め、もっと周知できればさらに良い。